「認定こども園いまかね」園舎完成！

「認定こども園いまかね」の落成祝福式が２月11日に行われました。当日は天気にも恵まれ、一足早い春のような穏やかな陽射しの中、関係者約80名が出席しました。

出席された方々は春から新しい園舎で子どもたちが元気に育まれていくのを思いうかべるかのように舎内を見てまわりました。

式では、事業者である社会福祉法人函館カトリック社会福祉協会理事長羽田野六男氏が「この素晴らしい園舎をいろんな人から見学に来てもらえるようにしたい。そして、子ども達が伸び伸びと育っていける環境を創っていきたい」と挨拶をしました。

また、町長は「子どもたちにとって夢が持てる、まさに『夢園（ゆめその）』であるような学び舎になるよう心から祈っています。」と祝辞を述べました。

４月５日の開園が待ち遠しいです。



▲出来たばかりの新しい園舎



▲木のぬくもりが感じられる渡り廊下



▲とても広い遊戯室には温かい日差しが注ぎます



▲約80名の関係者が出席しました

▼外崎町長から祝辞が述べられました





▲羽田野理事長のご挨拶

まちづくりタウンミーティング～2011開催～



２月15日、町民センターにて『タウンミーティング2011』が開催され約80名の参加をいただき、「今金町のまちづくりを描く第５次今金町総合計画について」をテーマに外崎町長が参加者と意見交換を行いました。

前段は、第５次総合計画の基本構想・17政策分野で策定された基本計画について概要の説明がありました。

総合計画は12月の定例町議会で議決された後、約１ヵ月間公共施設やホームページ等で町民の皆様に公開し、意見募集を行いました。寄せられたご意見を参考に、町長の考え方などが話されました。

後段は会場の参加者と町長との意見交換が行われ「今回の計画は町民の役割、行政の役割が明記されているが、どのように町民に周知し、行動してもらうのか？」や「農業政策に町がもっと積極的に関わる必要があるのでは？」など今後の実施計画の参考となる建設的なご意見などが寄せられました。

これからもタウンミーティング等の開催を含め、町民と情報の共有を図る機会を設けて、総合計画の具現化に努めていきます。



みんなで地域活性化を図ろう

エンジョイきんぱらの交流会が２月16日、金原基幹集落センターで行われました。エンジョイきんぱらは金原地区という枠にとらわれず、「みんなで地域活性化」をテーマに平成19年から活動し、今年で４年目となります。今回は、エンジョイきんぱらの女性部が中心となり、子どもからお年寄りまで全員でもちとそばを作りました。自分たちで作ったそばやもちは味も格別。参加された方も「今日は、いろんな年代の人たちと交流ができ、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。」と語ってくれました。



青年林業士認定書交付式が行われました



地域の森林づくりに強い熱意と意欲にあふれ、またこれからの森林資源の適正な管理を進めることを目的として、本年度より施行された「北海道青年林業士」に山口翼さんが認定されました。

山口さんは今金町森林組合の職員であり、若手リーダーとして活躍され、森林づくりに積極的に取り組み、また林業後継者でもあることが認められ２月２日今金町役場にて、檜山振興局産業振興部の渡辺部長より交付されました。

家庭学習の意義とこれから　～今金町ＰＴＡ連合会研究大会～

学校、家庭、地域、行政の役割を再認識するとともに、家庭学習の支援方法を探るため、北海道教育大学教育学博士「鹿内信善氏」をお招きして、１月27日(木)今金小学校を会場に「今金町ＰＴＡ連合会研究大会」が開催されました。



グループ協議をはじめ、参加体験型の手法で進められ、地域の「交流・協同・連係」が家庭学習の力を育てることや、「食卓勉強のススメ」といった家庭学習方法が紹介されました。105名の参加者からは「もう一度聞きたい」「楽しくて理解しやすい」などの声も多く、参加者の満足度が高かったことがうかがえました。

「仲間づくりでつながる地域の輪」　～総合型地域スポーツクラブ講演会～



今金町稲穂出身の久保田智氏（(財)北海道体育協会クラブ育成アドバイザー）を講師にお招きし、1月24日、町民センターにて町内会や企業、体育関係者など約100名が参加する中、講演会が開催されました。

講演では久保田氏が活動している「よりづか☆ちょいスポ倶楽部」の取組みやスポーツクラブいまかねが目指す姿などを参加者の質疑に答えながら会場全体で共有を図りました。また、「地域の大人みんなが先生だった今金のような環境を、北広島でつくりたかった。」と発足のきっかけとなる話をされました。

災害机上訓練「ＤＩＧ」を紹介

２月４日(金)、今金町自治会連合会役員会が開催され、ＤＩＧ（災害机上訓練）の実施方法などが紹介されました。ＤＩＧとは「D‥Disaster(災害)、I‥Ｉmagination(創造)、G‥Game(ゲーム)」の頭文字をとったものであり、机に地図を広げ参加者が相談しながら避難経路を確認するなど災害時に備えた訓練を行うものです。当日は檜山振興局地域政策課防災担当の職員から概要の説明を受け、まちづくり推進課の防災担当職員と社会福祉協議会職員が事前に行った、ＤＩＧの実施結果や実施して気づいた点などを役員のみなさんへ報告しました。今後は、地域ぐるみでの取り組みが期待されています。

